

令和4年度研究開発報告

住所 高知県高知市丸ノ内1-7-52
管理機関名 高知県教育委員会
代表者名 高知県教育長 長岡 幹泰

令和4年度地域との協働による高等学校教育改革推進事業に係る研究開発実施内容を、下記のとおり報告します。

記

1 事業特例校名・類型

学校名 高知県立高知西高等学校
学校長名 廣瀬 法民
類型 グローカル型

2 令和4年度研究開発実施概要

地域の産業や文化に関する課題や地域活性化事例を収集・分析し、グローバルな視点から地域創生モデルを提案する取組を通して、課題発見力、課題解決力、創造的思考力を身につけたグローバル人材を育成する。

3 教育課程の特例の活用 (□で囲むこと)

- ア 学校設定教科・科目を開設している
 イ 教育課程の特例の活用している

4 コンソーシアムについて

①コンソーシアムの構成団体

大阪学院大学法学部
高知大学地域協働学部
高知学園大学・短期大学
高知県産業振興推進部地産地消・外商課
中村学園女子高等学校
名古屋国際中学校・高等学校
徳島県立池田高等学校
高知県立高知国際中学校・高等学校
県内企業 (大野見七面鳥生産組合、特定非営利活動法人暮らすさき、SMARTPROJECT 他)
高知県教育委員会

②活動日程・活動内容

(別紙様式 5)

活動日程	活動内容
令和4年4月～7月	学校設定科目「グローバル探究Ⅲ」における探究活動
令和4年4月～5月	関係機関とのコンソーシアム構築
令和4年7月12日	学校設定科目「グローバル探究Ⅲ」における「国際シンポジウム」開催 (高知学園大学・短期大学 近森 憲助 氏) (高知大学 石筒 覚 氏) (高知県産業振興推進部 戸田 泰史 氏) (高知県教育委員会高等学校振興課 野田 健一 氏) (高知県教育委員会高等学校振興課 籠尾 悦子 氏) (高知県教育委員会事務局高等学校課 麻植 隆久 氏) (高知県教育委員会事務局高等学校課 下司 哲也 氏) (名古屋国際中学校・高等学校 小林 格 氏) (徳島県立池田高等学校 田島 幹大 氏) (特定非営利活動法人 暮らすさき 大崎 緑 氏) 他
令和4年7月12日	アドバイザー会
令和4年7月～令和4年12月	学校設定科目「グローバル探究Ⅲ」における進路探求
令和4年7月15日	学校設定科目「グローバル探究Ⅲ」における進路探求講演 (マイナビ 国本 雄佑 氏)
令和4年8月29日	学校設定科目「グローバル探究Ⅲ」における進路探求講演 (ヴォイストレーナー 清水 美也子 氏)
令和4年9月16日	学校設定科目「グローバル探究Ⅲ」における進路探求講演 (高知西高等学校卒業生 2名)
令和4年10月14日	学校設定科目「グローバル探究Ⅲ」における進路探求講演 (高知西高等学校教職員 3名)

5 研究開発の実績

(1) 実施日程

実施項目	実施日程											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校設定科目「グローバル探究Ⅲ」における探究活動	5回	3回	2回	3回								
関係機関とのコンソーシアム構築	1回	1回										
学校設定科目「グローバル探究Ⅲ」における「国際シンポジウム」開催				1日								
アドバイザー会				1回								
学校設定科目「グローバル探究Ⅲ」における進路探求					2回	2回	4回	2回	3回			

(別紙様式 5)

学校設定科目「グローバル探究Ⅲ」における進路探求講演				1回	1回	1回	1回						
----------------------------	--	--	--	----	----	----	----	--	--	--	--	--	--

(2) 実績の説明

①学校設定科目「グローバル探究Ⅲ」における探究活動

- ・自身の進路に根差したものを探究テーマとして設定し、課題解決策を個人論文（リサーチペーパー）にまとめた。
- ・国際シンポジウムに向けて、ステージ発表及びパネルディスカッションの準備を行った。

②関係機関とのコンソーシアム構築

- ・関係機関との今年度の探究活動について打ち合わせを実施した。

③学校設定科目「グローバル探究Ⅲ」における「国際シンポジウム」開催

- ・グローバル探究Ⅲの探究成果発表会を開催し、Zoom 配信や県内外の関係者を招待することを通して、その探究活動の成果を県内外へ広めた。

④アドバイザー会

- ・国際シンポジウム及びこれまでの探究活動における評価、助言をコンソーシアムに参加している有識者からいただいた。次年度以降に高知国際高等学校における探究プログラムの改善に役立てる一助となった。

⑤学校設定科目「グローバル探究Ⅲ」における進路探求

- ・進路実現に向けた個人探求を実施した。

⑥学校設定科目「グローバル探究Ⅲ」における進路探求講演

- ・進路実現に向けた講演に参加することで、進路探求を進めた。
- ・生徒は、自己表現の方法や自己管理の大切さについて学びを深めた。

(3) 研究開発の実施体制について

※高校と地域を繋ぐコーディネーターを配置する場合には、コーディネーターの配置状況及び活動内容について記載してください。

①グローバル探究Ⅲ

- ・自身の進路に基づいたテーマ設定のもと、個人で探究活動を実施。
- ・探究した成果を個人論文（リサーチペーパー）にまとめる。
- ・進路実現に向けた個人探求を実施。

(4) 次年度以降の課題及び改善点

今年度もコロナ禍ではあったが、3年間の探究活動の成果を発表する国際シンポジウムを開催し、その内容を県内外へ発信することができた。また、個人論文（リサーチペーパー）の作成においても、生徒個人がアンケートの実施やインタビュー活動を通して、根拠に基づいた探究活動を進めることができた。リサーチペーパーの内容を見ても、3年間で培った探究スキルをいかんなく発揮できたように感じる。このスキルと経験は、高校卒業後もさらに磨かれ、社会人としての資質向上に寄与するものと感じる。さらに、多くの生徒がこの活動を自身の進路探求へ活用・転用し、進路実現につなぐことができた。次年度以降は、高知西高等学校の積み重ねてきた成果を、高知国際高等学校に引き継ぐとともに、さらなる磨きをかけて、質の高い探究プログラムを研究開発していく。

(別紙様式5)

また、改善点としては、未だ自身の進路意識が明確でない生徒たちがいる。そのため、一部の生徒に3年次の個人探究の内容と進路希望の乖離がみられる。さらに、高知国際高等学校に引き継いだ際、高知西高等学校の教育課程とは異なり、このような探究活動を行う時数が変わる。以上のことを踏まえて、3年間一貫した探究プログラムを構築していく際は、生徒の進路意識がより高まるように、進路指導部や学年団との連携を通して、学校全体でプログラムの再構築を行っていく必要がある。

【担当者】

担当課	高等学校振興課	T E L	088-821-4542
氏 名	籠尾 悦子	F A X	088-821-4720
職 名	指導主事	e-mail	311801@ken.pref.kochi.lg.jp